

TOYOTOMI

トヨタトミ加湿セラミックヒーター

型式 ECH-H120E

イー シー エッチ エッチ イー

取扱説明書

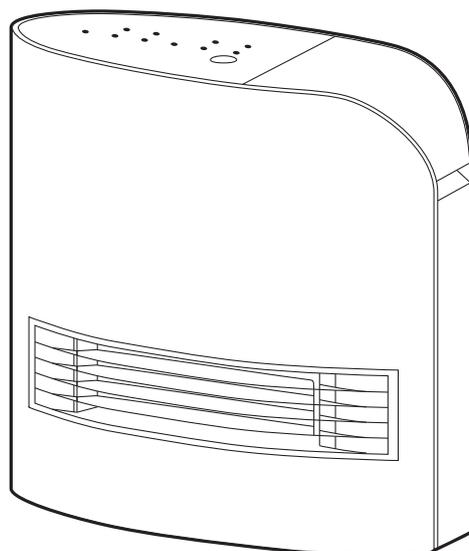
(保証書付き)

目次

安全上のご注意	1~4
各部のなまえ	5
使用前の準備	6
温風・加湿運転の使用方法	7
切タイマー・入タイマーの使用方法	8
チャイルドロックの使用方法	8
オートタイマーについて	9
お手入れのしかた	9~11
故障診断・異常の見分けかた	12
保管のしかた	13
仕様	13
保証とアフターサービス	14
お客様相談窓口	14
保証書	裏表紙

このたびは、トヨタトミ加湿セラミックヒーターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。



安全上のご注意 (よく読んで必ずお守りください。)

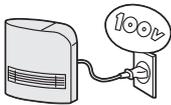
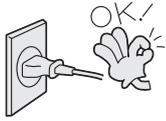
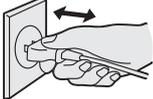
- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

    	この絵表示は、「禁止」されている内容です。	 	この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。
---	-----------------------	--	--------------------------

- 説明文中の「お願い」「お知らせ」事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

 警告(WARNING)		
<ul style="list-style-type: none"> ●日本国内専用です。 電源は交流100V以外で使 用しない。 100V以外の電源を使うと、電 気部品が過熱したり、火災や感 電の原因になります。 		 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●屋内の壁コンセントで2口以上になっ ていても単独で使用する。 100V15A以上のコンセントが確 認する。また、他の電気器具の電 源プラグは同じ コンセントに差し込み使用しない。 また延長コードの使用や他の電 気器具との タコ足配線をしない。 屋内配線(壁の中の配線)の電気容 量が許容量を超え、火災や感電 や電源プラグの 異常発熱や変形の原因になります。 		 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグは、ほこりが付着してい ないか確認し、ガタつきのないよ うに根元まで 確実に差し込む。 ほこりが付着したり、接続が不完 全な場合は火災や感電の原因にな ります。電源 プラグにたまったほこりなどは定 期的(1箇月に1~2回)に掃除して ください。 		 確認
<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードや電源プラグを破損す るようなことはしない。傷つけ たり、加工したり、 無理に曲げたり、ねじったり、引 っ張ったり、加熱したり、重い物 を載せたりしない。 また、ふすまやドアに挟まない。 使用中は、結束バンドや針金など で束ねたりしない。 傷んだまま使用すると火災や感 電やショートなどの原因になり ます。 		 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグやスイッチを濡れた手 で抜き差ししたり、触れない。 感電の原因になります。 		 ぬれ手禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを製品の下に踏んで使 用しない。 電源コードが破損する原因にな ります。傷んだまま使用すると火 災や感電の原因に なります。 		 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの抜き差しにより本機 の運転や停止をしない。 感電や火災の原因になります。 		 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●直接水をかけたり、水につけたり 、浴室内などの水のかかり易い 場所や湿気の多い 場所で使用しない。また本機の上 に花瓶など水の入った容器をの せない。 水がかかると、内部に浸水して電 気絶縁が劣化し、火災や感電の 原因になることが あります。 水などがかかったら、使用を中止 してお買い求めの販売店または、 当社の お客様 相談窓口]にご相談ください。 		 水ぬれ禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●本機の上に乗らない、また物を載 せない。本機をさかさまにしない。 転倒による本機の破損・故障の 原因になります。 		 禁止

警告(WARNING)

- 可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけない。
また可燃性ガスや腐食性ガスの発生する場所やたまる場所では使用しない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、火災や故障や変色の原因になります。



禁止

- 本機に衣類や洗たく物等を、載せたり、近くに置かない。
火災や本機の変形の原因になります。



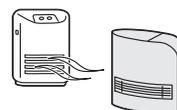
禁止

- 吹出口や吸込口のすき間に、ピンや針などの金属物等、または指を入れない。
内部に触れたり、異常加熱して、火災や感電ややけどの原因になります。



禁止

- 直射日光のあたる所や燃焼器具の周辺など熱気があたる場所には設置しない。
故障や変形のおそれがあります。



禁止

- 乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方には、付き添い無しでは使用しない。
やけどをおこすおそれがあります。



禁止

- 外出時や就寝時は使用しない。
寝具や可燃物などが触れると、火災の原因になります。



禁止

- カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使用しない。
火災の原因になります。



禁止

- スプレー缶やカセットコンロ用ボンベや炭酸飲料などを本機の近くに置かない。
熱で缶の圧力が上がり、爆発や引火の原因となります。



禁止

- 本体内部のお手入れに塩素系・酸性・アルカリ性の洗浄剤を使用しない。
本体内部に洗浄剤が残り、有毒ガス発生や水漏れの原因になります。



禁止

- 異常時(水漏れ、こげくさい等)は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。



電源プラグ
を抜く

- 改造は絶対にしない。また修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。
火災や感電やけがの原因になりますので、お買い求めの販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。



分解禁止

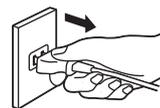
- 修理は、お買い求めの販売店または、当社の「お客様相談窓口」にご相談ください。
ご自分で修理をされたときに修理に不備があると、火災や感電等の原因になります。



実施

⚠ 注意 (CAUTION)

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。



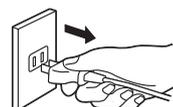
持つ

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電やショートや発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店または、当社の **お客様相談窓口** に修理依頼してください。



確認

- 使用時以外またはお手入れをする際は、電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけどの原因になったり、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



抜く

- 運転停止後約30秒間、送風が止まるまで電源プラグを抜かない。
本機が過熱して、故障の原因になります。



禁止

- 屋外で使用しない。
屋内専用です。故障や感電の原因になります。



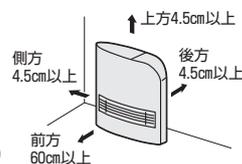
禁止

- 障害物(カーテン等)の周囲や傾斜のある所や不安定な場所(棚などの高い所)では使用しない。
事故や転倒や故障や水漏れの原因になります。



禁止

- 本機は、壁や燃えやすい物(可燃物)から右図の距離を離して使用する。
ただし左右面のどちらか一方は、壁や家具等を置かない。
発熱や発火や故障の原因になります。



(例：右側方を開放にした時)



まわりから
離す

- プレフィルター、フィルターをはずした状態で使用しない。
本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。



禁止

- 本機は一般家庭でのご使用を対象にしていますので、食品・動物(飼育室等)・植物(温室等)・精密機器・美術品・コンピュータールーム・医薬品等の維持・管理や保存など、特殊用途では使用しない。またペット用の暖房として使用しない。
本機自体やこれらの物の品質低下や劣化、故障の原因になります。
予測できない事故が発生するおそれがあります。



禁止

- 本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてタンクを外してからおこなう。
また引きずって移動しない。
畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの上では、持ち上げて移動してください。けがや床を傷つける原因になります。



指示

- 吸込口や吹出口の風をさえぎったり、塞いだりしない。
発火や発熱や故障の原因になります。



指示

- 異常な振動や異音がした場合は、使用を中止する。
部品の落下等によるけがの原因になります。



指示

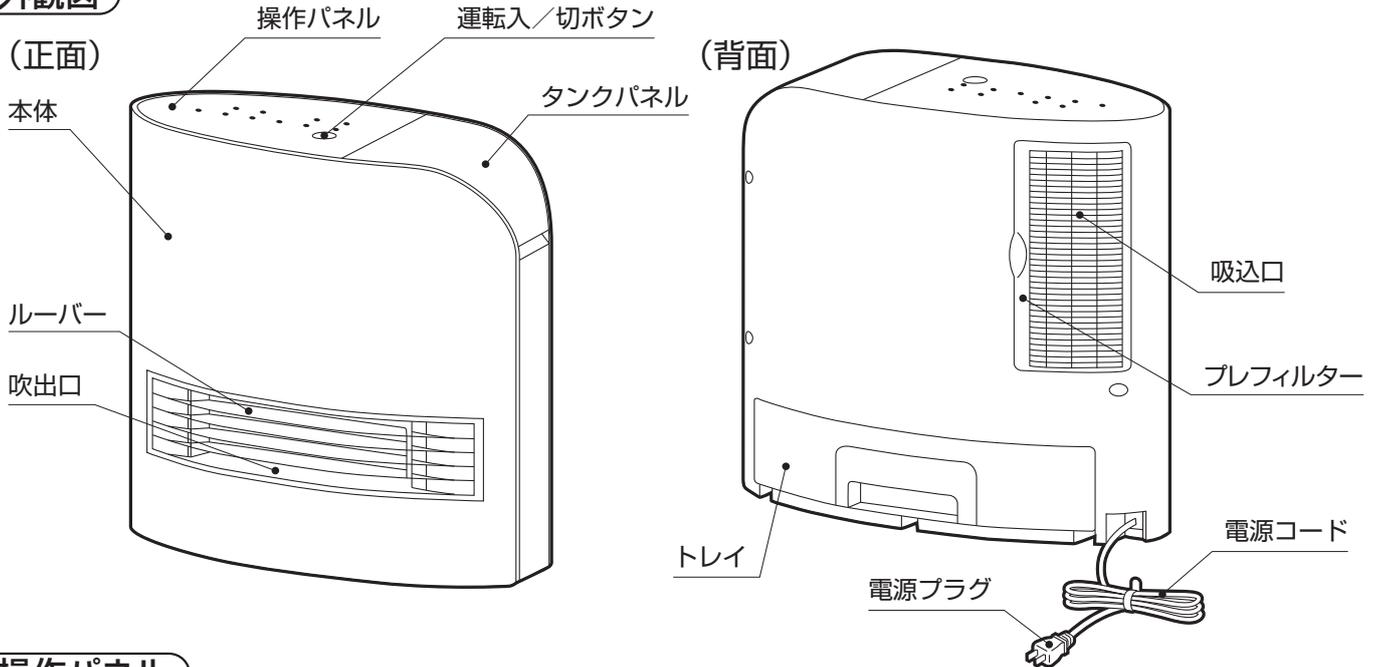
⚠ 注意 (CAUTION)

<p>●使用中や使用直後は、吹出口などの高温部にふれない。 やけどの原因になります。 特にお子様にご注意ください。</p>		 接触禁止
<p>●落下した本機やタンクを使わない。 そのまま使うと破損箇所から水漏れして感電や発火やショートの原因になります。</p>		 禁止
<p>●加湿する水は必ず毎日新しい水道水と入れかえる。本機内部は常に清潔を保つよう定期的に掃除する。 掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。 体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。この場合は医師に相談してください。</p>		 指示
<p>●井戸水や汚れた水やお湯、水道水に洗剤や薬品や香料や精油(アロマオイル等)などを入れて加湿しない。 健康を害する原因になります。本機の故障や変形の原因になります。</p>		 禁止
<p>●運転をしたまま、タンクをはずさない。 タンクをはずすときは電源を切ってください。</p>		 指示
<p>●給水は、必ずタンクに給水する。トレイに直接給水しない。 漏電・感電のおそれがあります。</p>		 禁止
<p>●お手入れは、手袋をはめておこなう。 けがの原因になります。</p>		 指示
<p>●保管する時は、器具の操作を知らない人(特にお子様)などが触れない所に保管する。 タンク、トレイは排水後、陰干してよく乾燥させてから、高温多湿の場所をさけて保管する。 けがや事故の原因になります。</p>		 指示

お願い	<p>●初めてご使用になるときは、本機内部から塗料のにおいが発生することがありますが、ご使用にともないにおいがなくなります。</p>
	<p>●テレビやラジオなどAV機器や電波時計から2 m以上離してください。映像の乱れや雑音が入るおそれがあります。</p>
	<p>●吸込口・吹出口をふさがず、室内の空気がよく循環する場所に置く。性能低下や故障の原因になります。窓や冷たい壁に温風がかかると、水滴となって窓や壁、床につくことがあり、カビなどが発生することがあります。</p>
	<p>●移動するときは、傾けたり、ゆすったりしない。水がこぼれます。トレイ内の水量が増えすぎて、加湿しにくくなります。</p>
	<p>●凍結に気をつける。凍結したまま使うと、故障の原因になります。凍結のおそれのあるときは、タンクの水を捨ててください。</p>
	<p>●加湿された温風を直接家具・電気製品・壁・カーテンなどに当てない。家具や壁にシミが付いたり、故障・変形の原因になります。</p>

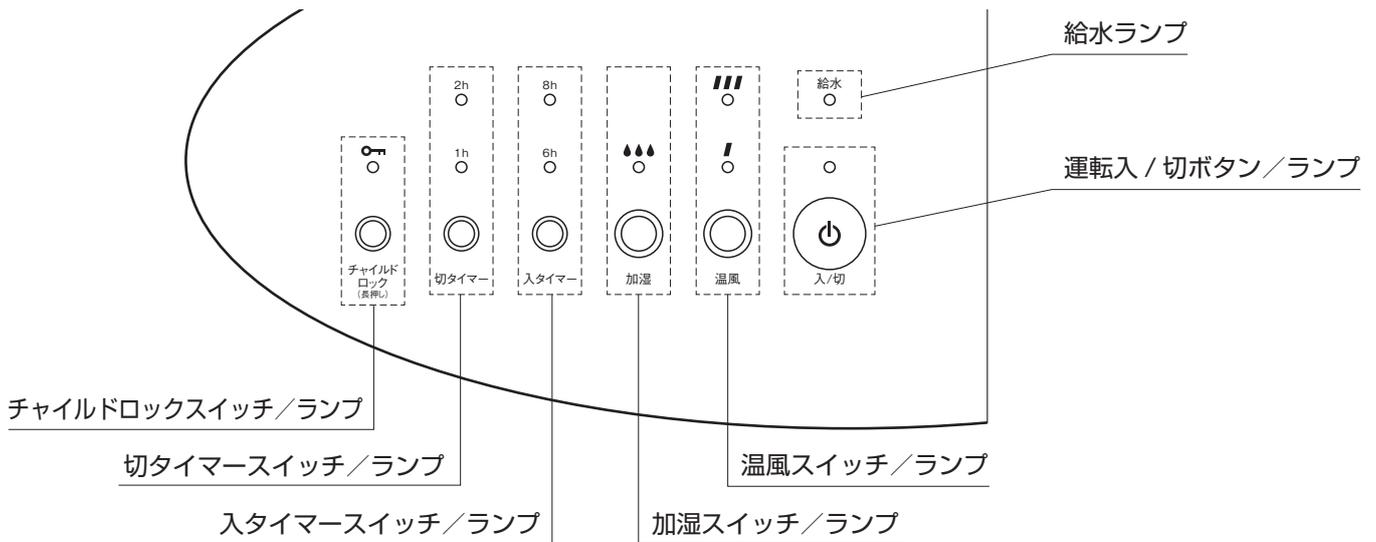
各部のなまえ

外観図

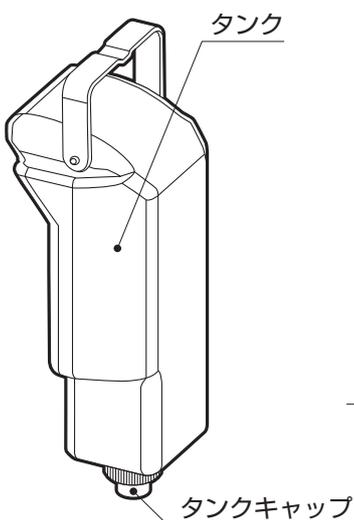


操作パネル

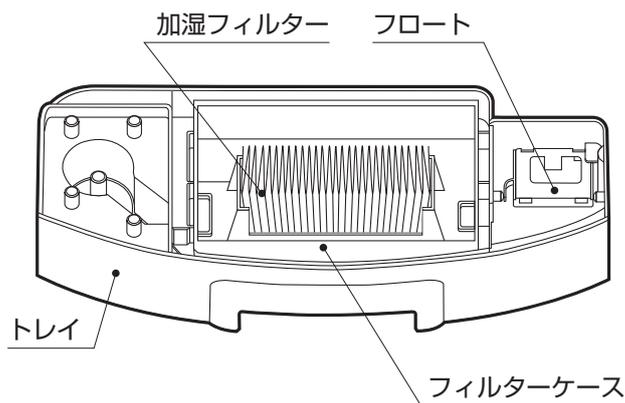
●操作パネルは、運転入/切ボタン以外は指でタッチして操作するタッチ式のスイッチです。



タンク

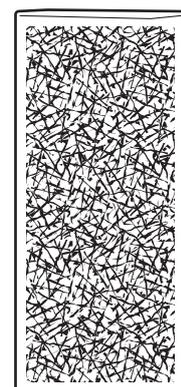


トレイ内部



〔付属品〕

フィルター



使用前の準備

⚠️注意

- プレフィルター、フィルターをはずした状態で使用しない。
本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。



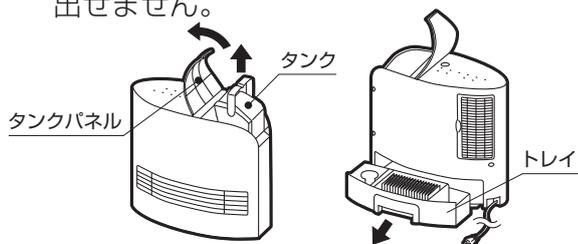
お願い

- タンクに水を入れるとき、持ち運ぶときなどに、誤ってタンクを落としたりすると破損します。十分に注意してお取扱いください。
- 給水するとき、タンクの給水口に水道の蛇口を直接差し込んで給水することはおやめください。タンクが破損することがあります。
- タンクを本体からはずしたまま、放置しないでください。暖房器具の熱や直射日光で温度が上がると、タンク内の空気がふくらみ、タンクが変形することがあります。
- タンクキャップは確実に締めてください。タンクキャップを斜めに締めたり、ゆるんでいたりすると、水がタンクから簡単にこぼれて、お部屋を汚したり、本機にかかって、感電やショートなどのおそれがあります。

●温風モードのみで使用される場合は、タンクに水を入れなくても大丈夫です。

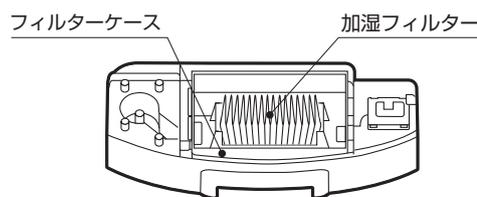
1. タンクパネルを開き、本体からタンク、トレイの順に取り出します。

- タンクを取り出さないとトレイは引き出せません。



2. トレイの中に加湿フィルターとフィルターケースが取り付けられているか確認してください。

- 加湿フィルターとフィルターケースが外れている場合、11ページの「6」を参照して取り付けてください。



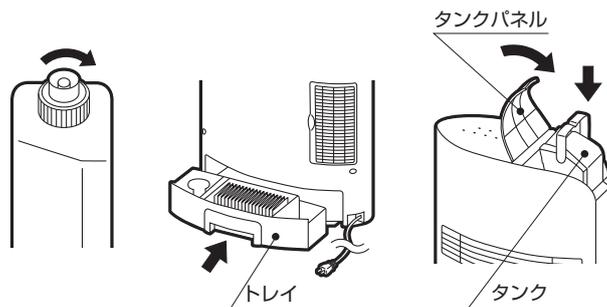
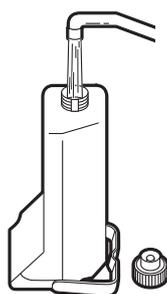
3. タンクキャップを左「←」に回して取りはずします。



6. タンクキャップを右「→」に回して締めて、トレイ、タンクの順に本体にセットして、タンクパネルを閉じてください。

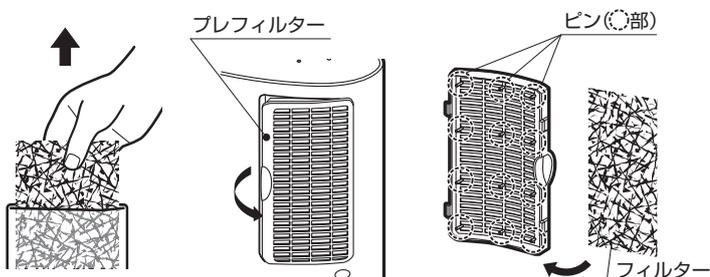
4. タンク内の洗浄をします。

5. 水道水をタンクに入れてください。



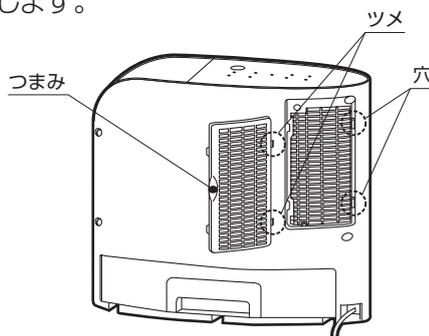
7. プレフィルターをはずして同梱のビニール袋に入ったフィルターを取り付けてください。

- フィルターはビニール袋から取り出してください。
- フィルターはプレフィルターのピンに差し込んで取り付けてください。



8. フィルターを取り付けたプレフィルターを本体に取り付けます。

- ツメ(2箇所)を穴(2箇所)に差し込み、つまみを押しします。



温風・加湿運転の使用方法

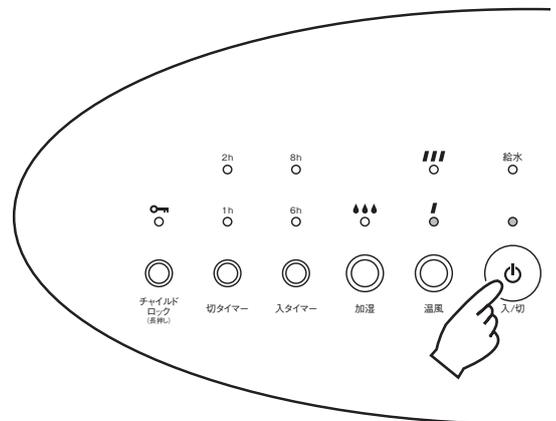
⚠️注意	● 運転停止後約30秒間、送風が止まるまで、電源プラグを抜かない。 本機が過熱して、故障の原因になります。	🚫 禁止
	● プレフィルター、フィルターを外した状態で使用しない。 本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。	🚫 禁止
🙏お願い	● 長時間水を入れて放置すると水質が悪くなり、ニオイのもとになります。長時間使用しない場合は、タンクおよびトレイ内の水を捨ててください。	
	● 凍結のおそれがある時は、タンクおよびトレイ内の水を捨ててください。	

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 「ピッ」と1回音が鳴ります。

2. 運転入/切ボタン「」を押します。

- 運転入/切ランプと温風ランプが点灯し、温風弱運転で運転を開始します。
- 運転開始から数秒間は送風が強くなっています。



温風運転の強/弱を設定したい時

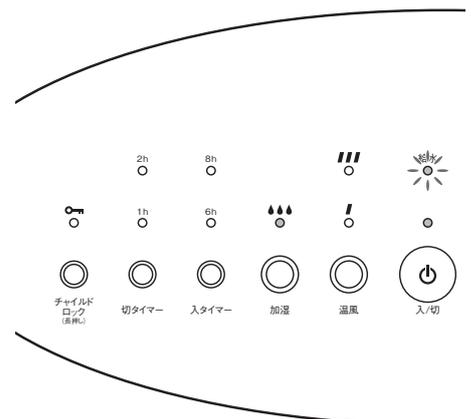
- 温風スイッチ「」をタッチします。
- タッチするごとに、**3 (強)** → **1 (弱)** → **3 (強)** → …の順に温風ランプが変わり、温風運転時の温風の強/弱を選べます。
- 温風のみで運転する時は、給水しなくても使用できます。

加湿運転のON/OFFを設定したい時

- 加湿スイッチ「」をタッチします。
- タッチするごとに、加湿運転ON → 加湿運転OFF (温風運転) → 加湿運転ON → …の順に変わり、加湿ランプで表示します。
- 加湿運転中に温風スイッチ「」をタッチするごとに、**3 (強)** → **1 (弱)** → **3 (強)** → …の順に温風ランプが変わり、加湿運転時の温風の強/弱を選べます。

水がなくなって、タンクに水を補給する時

- タンクの水がなくなると、「ピピッ」と3回音が鳴り、温風ランプが消灯し、給水ランプが点滅して、給水警告し、加湿運転は自動停止します。
- 6ページの「**使用前の準備**」を参照して、タンクに水を補給してください。加湿運転で停止した場合、(水を補給したタンクを本体にセットすると)自動的に加湿運転が再開されます。
- タンクに水がない時、加湿スイッチをタッチして加湿運転から温風運転に切り替えると温風運転をおこなえます。



3. 運転を停止する時は、運転入/切ボタン「」を押します。

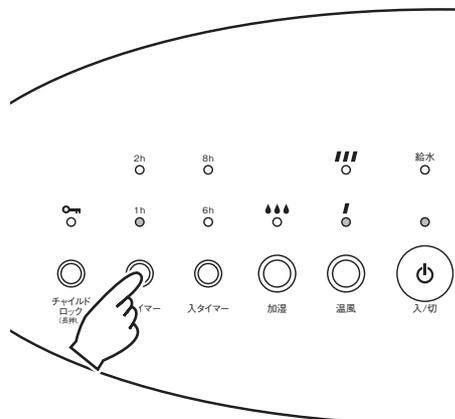
- すべてのランプが消灯して、30秒間送風運転して停止します。

切タイマー・入タイマーの使用方法

お知らせ ●切タイマーと入タイマーは同時にセットできません。

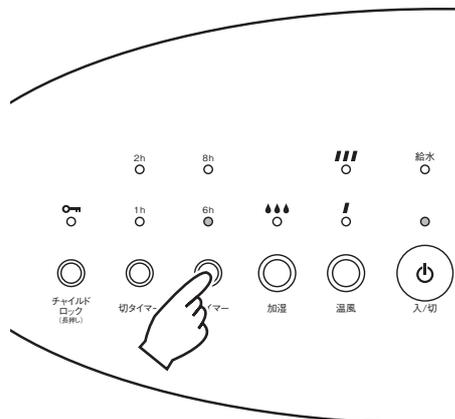
切タイマー運転の時間を設定したい時

- このタイマー運転は、設定時間が経過すると自動的に運転を停止する「切」タイマーです。
- 運転中に切タイマースイッチ「」をタッチします。
- タッチするごとに、1h→2h→キャンセル→1h→…の順に切タイマーランプが変わります。
- 数秒すると切タイマーランプ(1h・2h)が点滅から点灯に変わり、切タイマーの設定が完了となります。
- 運転停止中は、設定できません。



入タイマー運転の時間を設定したい時

- このタイマー運転は、設定時間が経過すると自動的に運転を開始する「入」タイマーです。このときの運転状態は、入タイマー設定前の運転を継続します。
- 停止中または運転中に入タイマースイッチ「」をタッチします。
- タッチするごとに、6h→8h→キャンセル→6h→…の順に入タイマーランプが変わります。
- 数秒すると入タイマーランプ(6h・8h)が点滅から点灯に変わり、入タイマーの設定が完了となります。運転中に入タイマーをセットすると、運転が停止します。入タイマー中は、運転入/切ランプと設定した入タイマーランプが点灯します。

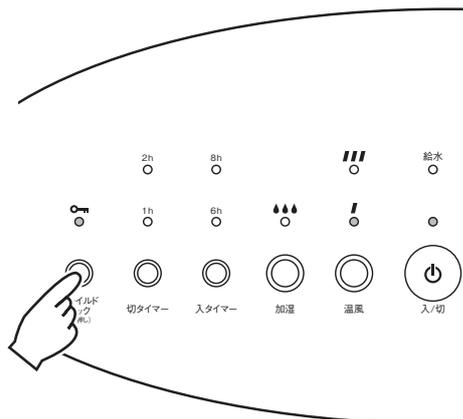


チャイルドロックの使用方法

お知らせ ●チャイルドロックは、お子様が誤ってスイッチを押しても作動しないようにしたいときに使用します。
●チャイルドロックは、運転中または運転停止中でも設定できます。

チャイルドロックを設定したい時

- 停止中または運転中にチャイルドロックスイッチ「」を約4秒間タッチします。
- 約4秒間タッチするごとに、チャイルドロックON→チャイルドロックOFF→チャイルドロックON→…の順にチャイルドロックランプが変わります。
- 運転中のチャイルドロック設定時は、チャイルドロックスイッチと運転入/切ボタン(運転停止)以外の操作はできません。また、運転を停止させてもチャイルドロックは継続します。
- 運転停止中のチャイルドロック設定時は、チャイルドロックスイッチ以外の操作はできません。



オートタイマーについて

- 本製品は切り忘れ防止のため、スイッチを最後に操作してから6時間経過すると運転を自動で停止します。
- 自動停止時は切タイマーランプ(1h・2h)が2分間点滅を繰り返してお知らせします。2分経過すると切タイマーランプは消灯します。

お手入れのしかた

△注意

- お手入れは、電源プラグをコンセントから抜く。
運転停止後は高温になっている箇所があります。必ず本機が十分に冷えるのを待ってからおこなってください。やけどの原因になります。

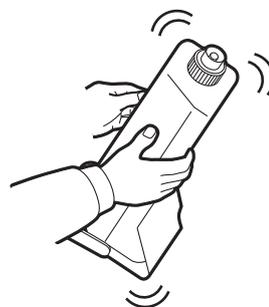


お願い

- 床などをめらさないようにタオル、雑巾などを用意してください。
- 本体外側の掃除の時は、洗剤を使うときは薄めた台所用中性洗剤をお使いください。アルコール、ベンジン、シンナー、ミガキ粉、塩素系・酸性・アルカリ洗剤などは使わないでください。本体に傷が付いたり、変色や変形することがあります。

タンク内の掃除(毎日)

- 水を入れてタンクキャップを締め、振り洗いをしてください。(2~3回)



フィルターの掃除(1週間に1回程度)

△注意

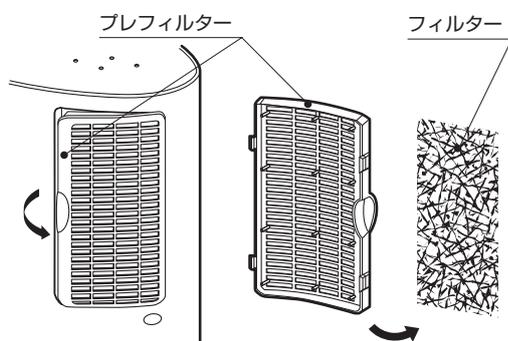
- プレフィルター、フィルターを外した状態で使用しない。
本機内にほこりを吸い込み、故障の原因になります。



お願い

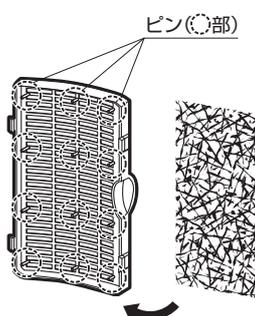
- フィルターは、水洗いをしないでください。フィルターの効果が低下します。

1. 電源プラグを抜いて、プレフィルターをはずしてフィルターを外してください。



3. フィルターをプレフィルターに戻します。

- フィルターはプレフィルターのピンに差し込んで取り付けてください。



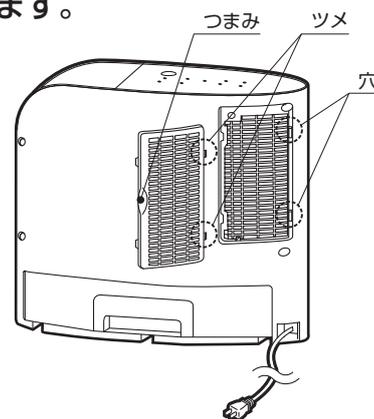
2. フィルターに付いたホコリを掃除機で吸い取ってください。

- フィルターは水洗いしないでください。



4. フィルターを取り付けたプレフィルターを本体に取り付けます。

- ツメ(2箇所)を穴(2箇所)に差し込み、つまみを押しめます。



トレイ、フィルターケース、加湿フィルター(2週間に1回程度)

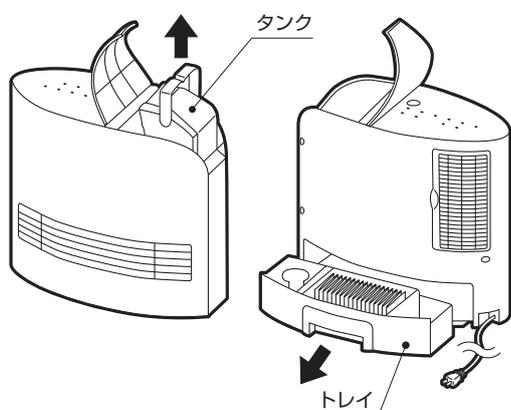
お願い

- 加湿フィルターがこげ茶色や赤茶色に変色することがありますが、水道水に含まれる成分によるため異常ではありません。(使い始めより数時間で変色することがありますが異常ではありません。)
- 加湿フィルターには、水道水に含まれるミネラル成分(カルシウムなど)によって白色の固まりや水あかが付着してきます。お手入れせずに使用を続けると汚れが取れにくくなります。また加湿フィルターの寿命が短くなるおそれがありますので、2週間に1回は必ず手入れしてください。
- 加湿フィルターの交換の目安は1シーズンですが次のような時は交換をしてください。
 - ・お手入れしてもにおいがとれない時
 - ・変色や汚れがひどい時
 - ・傷みがひどい時

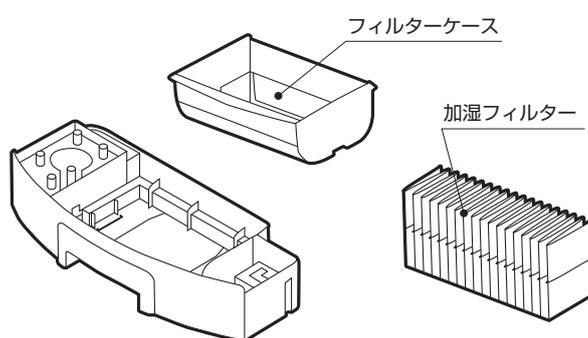
1. 電源プラグを抜きます。

2. タンク、トレイの順に取り出します。

- タンクを取り出さないとトレイは引き出せません。



3. 加湿フィルターとフィルターケースをはずします。

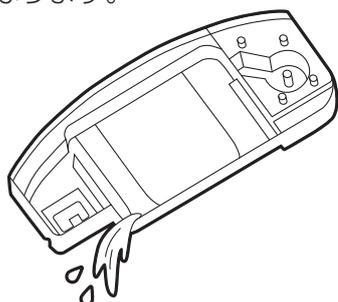


4. トレイに残った水を捨てて、トレイ、フィルターケースを水洗いします。

- 汚れは柔らかい布でふいてください。
- 狭いところなど汚れが取りにくいところは綿棒や歯ブラシを用いてください。
- トレイの外側の水気は拭き取ってください。

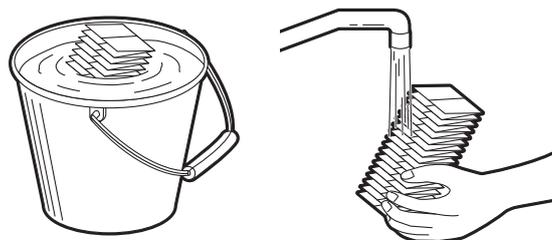
水あかが取れにくいときは

- 柔らかい布に、台所用中性洗剤またはクエン酸(市販品)を溶かしたぬるま湯(約40℃以下)を浸して汚れを拭き取ってください。
- きれいな水で2~3回すすぎ洗いしてください。
- すすぎが不十分ですと、においの発生や故障の原因になります。



5. 加湿フィルターのお手入れをします。

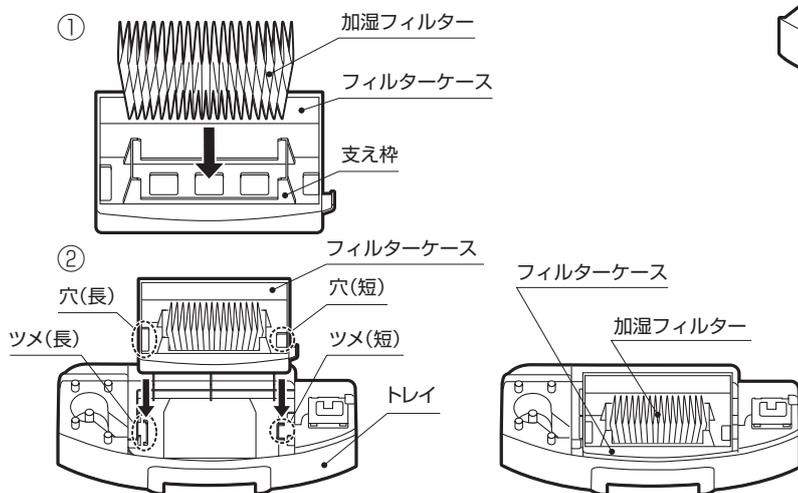
- クエン酸(市販品)を溶かしたぬるま湯(約40℃以下)につけ置き洗いをしてください。(ぬるま湯3Lにクエン酸(市販品)20g(大さじ2杯)の割合)
- きれいな水で2~3回すすぎ洗いを繰り返します。
- ブラシなどを使用して加湿フィルターをお手入れすると、加湿フィルターを傷める原因となりますので、おやめください。



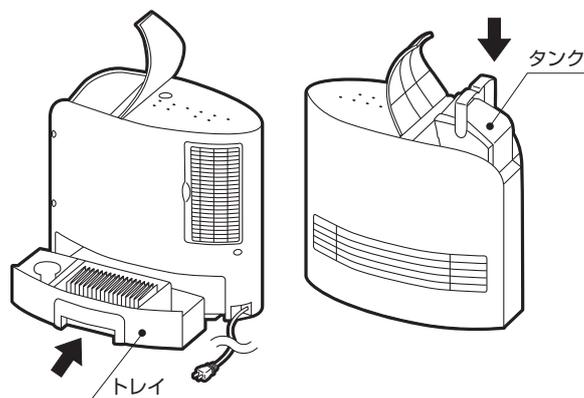
※次のページへ続きます。

6. トレイの中に加湿フィルターとフィルターケースを戻します。

- ①加湿フィルターはフィルターケースの支え枠の中に戻してください。
- ②フィルターケースをトレイに戻す時は、フィルターケースの穴にトレイのツメを通してください。



7. トレイ、タンクの順に元に戻します。

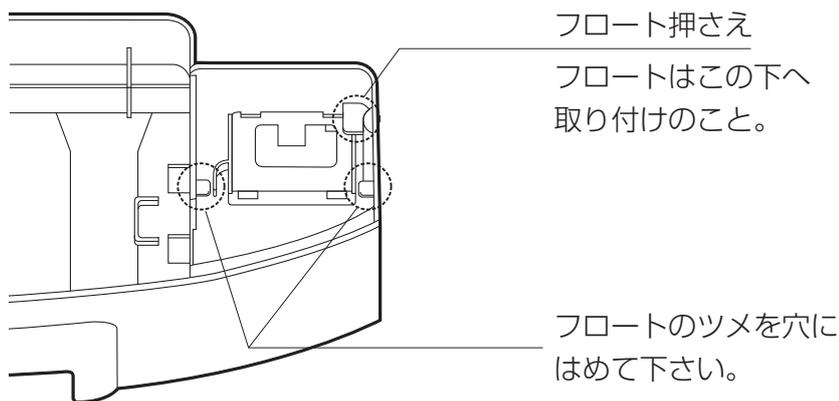


タンク、本体外側の掃除(1箇月に1回程度)

- ぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を、固くしぼって汚れをふき取り、からぶきをしてください。

フロートがはずれた時

- フロートがはずれた時は、下図の通り元に戻してください。正常に作動せず、故障の原因になります。



加湿フィルターの交換時期

- 加湿フィルターの交換の目安は1シーズンですが、次のような場合は交換をしてください。
 - ・お手入れしてもにおいがとれない時。
 - ・変色や汚れがひどい時。
 - ・傷みがひどい時。
- 使い始めて間もなく加湿フィルター上部がこげ茶色や赤茶色に変色することがありますが、異常ではありません。

電源プラグ、コンセントの掃除

- 1箇月に1～2回程度、電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。

故障診断・異常の見分けかた

ランプ表示

ランプ表示		調べるところ	処置方法
全ランプ	全ランプ点滅	●本体が傾いていませんか？	●本体を水平な所に置いてください。
	温風ランプ点滅	●吹出口、吸込口をふさぐ障害物がありますか？ ●フィルターにホコリが詰まっていますか？	●障害物を取り除いてください。 ●フィルターのお手入れをしてください。
	加湿ランプ点滅	●フィルターケースが外れていませんか？ ●トレイは本体の奥までしっかり取り付けられていますか？	●トレイにフィルターケースを取り付けてください。 ●トレイを本体の奥までしっかり取り付けてください。
給水 	給水ランプ点滅	●タンクに水は入っていますか？ ●タンクは正しく本体にセットされていますか？	●タンクに水を入れてください。 ●タンクを正しく本体にセットしてください。

異常の見分けかた

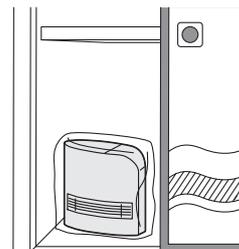
症状	調べるところ	処置方法
運転しない。	●停電していませんか？ ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●ランプ表示をしていませんか？	●停電復帰後、再度運転をしてください。 ●電源プラグをコンセントに差しなおしてください。 ●ランプ表示の処理方法を見てください。
蒸気や霧が出ない。	●本機は、水を沸騰したり噴霧する方式の加湿器ではない為、蒸気や霧は見えません。	●異常ではありません。温風により水を気化して加湿する加熱気化方式でお部屋を加湿します。
タンクに水が入っていない時も運転する。	●温風運転になっていませんか。	●異常ではありません。温風運転は、給水しなくても運転可能です。
スイッチを入ると音がする。	●通電してからしばらくの間、ヒーターの膨張により音がします。	●異常ではありません。しばらくすると音は消えます。
においがする。	●初めてご使用になる時は、本体や内部から塗料のにおいが出ることがあります。 ●トレイやタンクや加湿フィルターが汚れていたり、水が古くなっていたりしていませんか？	●ご使用にともない、においは出なくなります。 ●トレイやタンクや加湿フィルターなどをお手入れしてください。 9～11ページの「 お手入れのしかた 」を参照してください。
電源プラグが少し熱い。	●使用中は少し熱を帯びます。	●異常ではありません。
電源プラグが異常に熱い。	●コンセントは確実に差し込まれていますか？ コンセントに電源プラグを差し込んだ時ガタツキはありませんか？	●工事業者に依頼してコンセントを交換してください。コンセントを交換しても異常に加熱している場合は販売店に修理依頼をしてください。

●ご使用中、不具合や異常が生じた場合、上記の方法で点検していただき、なお異常がある時は、お買い求めの販売店または当社の **お客様相談窓口** にご連絡ください。

保管のしかた

⚠注意	●使用しないとき、保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 けがや、感電、漏電の原因になります。	 電源プラグを抜く
	●保管するときは、器具の操作を知らない人（特にお子様）などが触れないところに保管する。 けがや事故の原因となります。	 指示

- 9～11ページの「**お手入れのしかた**」にしたがって、お手入れをしてください。
- タンクやトレイの排水後は、陰干ししてよく乾燥させてから、高温多湿の場所をさけて保管してください。
- お買い求めのときの包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて、湿気の少ない所に保管してください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。



仕様

型 式	ECH-H120E
電 源	交流100V 50/60Hz
消 費 電 力	1200W(温風強)
	600W(温風弱)
	1150W(加湿強)
	600W(加湿弱)
加 湿 能 力	約0.4L/h(加湿強)
	約0.2L/h(加湿弱)
タ ン ク 容 量	約1.7L
コ ー ド 長 さ	約1.8m
外 形 寸 法	幅373mm×奥行174mm×高さ371mm
質 量 (水 を 除 く)	約4.6kg
安 全 装 置	転倒OFFスイッチ
	温度過昇防止用スイッチ
	電流ヒューズ

・製品改良のため仕様の一部を予告なしに変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証について

●この製品には保証書がついています。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●保証期間はご購入の日から1年間です。

保証書の記載内容によりご購入の販売店が修理いたします。

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により修理いたします。費用など詳しいことはご購入の販売店にご相談ください。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●加湿セラミックヒーターの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて



警告

●改造は絶対にしない。また修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない。

火災や感電やけがの原因になりますので、ご購入の販売店または、当社の **お客様相談窓口** にご相談ください。



分解禁止

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、ご購入の販売店に修理を依頼してください。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、右のことをお知らせください。

型 式…ECH-H120E
故障状態…できるだけ詳しく
ご芳名・ご住所・お電話番号
ご購入年月日

●アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、ご購入の販売店または下記の **お客様相談窓口** にご相談ください。

●ご贈答、ご転居により、ご購入の販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での当社製品取扱店を紹介させていただきます。

お客様相談窓口

製品についてのお問い合わせ、故障修理のお問い合わせはご購入の販売店にご連絡ください。

販売店にお問い合わせできない場合は、下記の **お客様相談窓口** までご連絡ください。

株式会社 トヨタ

フリーコール **0120-104-154**

■受付時間：平日（月曜～金曜）：午前9時～午後5時（土・日・祝日は除く）

トヨタミ 加湿セラミックヒーター 保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い求め日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

型 式 ECH-H120E 保証期間 お買い求め日より1年間

※お買い求め日 年 月 日

※お客様 姓 名 様

〒 □□□□-□□□□

ご住所

〔電 話 () 〕

※販売店名・住所・電話番号

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は
有料修理となりますから必ず確認し、**購入証明書(領収書)**を保管してください。

株式会社 トヨタミ 名古屋瑞穂区桃園町5番17号
〒467-0855 ☎052-822-1144

【 無 料 修 理 規 定 】

1. お買い求め日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い求めの販売店または当社が無料修理致します。
 2. 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社にご依頼ください。
 3. ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、当社までお問い合わせください。
 4. 保証期間内でも、次の場合は有料になります。
(イ) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) お買い求め後の器具の転倒、落下、衝撃等による故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
(ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品の修理。
(ト) 部品の消耗による部品交換及びメンテナンスの費用。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、当社の **お客様相談窓口** までお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。
- お客様の個人情報、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

修理メモ

株式会社 トヨタミ

ホームページ <http://www.toyotomi.jp>

本 社 〒467-0855
名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
フリーコール 0120-104-154
TEL <052> 822-1144
FAX <052> 822-2742